

令和5年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

岡山市

行事名称	廣谷山如法寺無量寿院消防訓練（文化財防災デー）
実施期間・日時	令和6年1月23日
実施場所	無量寿院本堂（岡山県岡山市東区広谷135）
主催者	無量寿院、岡山市消防局東消防署、岡山市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

令和6年1月23日(火) 午前9時30分ごろ、本堂の西側、山裾にて林野火災が発生。関係者及び近隣住民により消火器を使用した初期消火および仏像の搬出を行ったが、火災の勢いが収まりそうにない。119番通報を受け集結した消防団、消防隊は負傷者の搬出及び放火活動を実施し、人命及び文化財を護る。

訓練の内容

無量寿院住職らによる火災発見、通報・初期消火（消火器）・文化財の搬出を実施。消防署、消防団により負傷者の搬出及び放水訓練を実施。

参加者及び役割分担

消防署（署員12名、消防車両3台、救急車1台）全体総括、放水訓練、負傷者搬出
消防団（団員12名、消防車両2台）放水訓練
消防署（安全管理5名、報道対応3名）安全管理、講評、報道対応
無量寿院（2名）初期消火
檀家・地区住民（8名）1名：初期消火 その他：消火器の訓練
岡山市教育委員会（1名）現場立会
報道関係（11名）テレビ局3、新聞社1

特に工夫した点

いわゆる消火訓練だけでなく、負傷者が想定での訓練を実施。消防車と救急車の配置場所やホース等を展開するタイミングの確認を行った。

問題点・課題

無量院が細い道の先の山の中腹にあるため消防車等の乗り入れ等に少し時間がかかるとともに、山麓から水を上げる関係で少し放水に手間取る点があった。以下に迅速な初期消火を行うか、放水準備や水圧・水量などの課題をどう生かすかが重要。

その他

文化財防火デーにあわせて訓練を行い、その様子を報道陣等に公開することで現地参加だけでなく、メディアを通じて消防訓練を広く市民等に伝える機会になったと考える。積極的な広報活動を行うことで地域以外の人々にも文化財愛護の高揚を図るとともに防災の重要性を認識する機会となるだろう。今後も継続することが重要。

訓練風景



放水訓練